

神経学的音楽療法



当院ではリハビリテーションの一環として、神経学的音楽療法（Neurologic Music Therapy : NMT）を導入しています。

◆NMTとは？

音楽は、運動・言語・注意機能などを担うさまざまな脳内ネットワークで処理され、歌唱や楽器演奏等の音楽活動は口腔・呼吸器官や身体機能の使用を促します。NMTとは、音楽の知覚や音楽活動への主体的な参加による脳活動や身体活動を、脳神経疾患による障害の回復に応用する音楽療法です。

NMTはアメリカ合衆国では既に保険診療の対象となり、脳性麻痺やパーキンソン病、そして脳卒中による歩行障害や高次脳機能障害に用いられています。

◆NMTの技法例

- リズム聴覚刺激（理学療法士との連携）
リズムや音楽に同調して歩行訓練をすることで、歩行速度や歩幅の改善を促します。



- メロディック・イントネーション・セラピー（言語聴覚士との連携）
失語症の方の損なわれていない歌唱能力を利用し、発話を促進します。物品名や挨拶語など日常的に使用する言葉や文にリズムとメロディーをつけて練習することで、言葉が出やすくなります。
- 音楽を用いた半側空間無視訓練（作業療法士との連携）
無視側からの聴覚刺激提示や非無視側から無視側への音階楽器演奏などを行い、無視側への視覚的注意を促します。



◆NMT導入の利点

- NMTは日本国内で保険診療対象外であり、患者様によっては算定内のPT・OT・STによる1日9単位に加え、費用の負担なくNMTの介入が受けることができます。
- 失語症の患者様には、言語機能回復の為のST介入に加え、NMTによる音楽的アプローチでの介入もあり、通常以上の言語訓練が実施できます。
- 他職種との共同介入を行い、例えば歩行訓練中にPTが患者様の身体的介助をしながら、NMTが理想的な歩行速度を提示するなど、より効果的な介入が行えます。

◆NMTスタッフ

当法人では、神経学的音楽療法国際研修会を修了した専任音楽療法士が、各患者様に最適な技法を選択して効果的にリハビリテーションを進めています。